

馬場ひでゆきの活動日誌

No.34

今回の報告は議会最終日。議場で、知事が提出した議案などにつき討論と採決が行われます。

採決の仕組みは？

6月議会での採決の結果は、左の図のとおりです。この図は新潟県議会のホームページから抜粋引用しました。

県議会の採決の大きな特徴は、個々の議員の採決が会派毎に賛否を統一する仕組みになっていることです。だから、左の表も会派ごとに表示されています。

●会派って何？メリットは？
会派とは、議会内で活動を共にしようとする議員のグループです。

各委員会の選択や、各委員会



実はまだあったpart4

6月定例会（議会）

討論・採決 ＜県議会最終日の採決は？＞

＜知事提出議案＞

議案名	結果	自民党	みらい新潟	リベラル新潟	真政にいがた	公明党	無所属（馬場）
令和6年度新潟県一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○
新潟県核燃料税条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	×

＜議員発議案＞

議案名	結果	自民党	みらい新潟	リベラル新潟	真政にいがた	公明党	無所属（馬場）
拉致被害者全員の即時帰国の実現を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○
新潟水俣病全被害者の救済と問題解決に向けた取り組みを求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○
地域公共交通の維持・充実のための財政支援の拡充を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○
最低賃金の引き上げを求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○
健康保険証の存続を求める意見書	否決	×	○	○	○	×	○
給特法を廃止し、教育の働き改革の促進を求める意見書	否決	×	○	○	○	×	○

＜令和6年6月定例会に提出された請願＞

委託委員会	件名	結果
厚生環境委員会	新潟水俣病全被害者の救済と問題解決に向けた取り組みを求める意見書提出に関する請願	採択
厚生環境委員会	健康保険証の存続を求める意見書提出に関する請願	不採択
産業経済委員会	令和6年度新潟県最低賃金改定等についての意見書提出に関する請願	採択

採決の結果は？

●知事提出の補正予算案は、全会一致で可決。核燃料税条例の制定については、私は反対しましたが、他の会派がすべて賛成のため、可決されました。なお、核燃料税条例については、いまだ立法の必要性がない（日誌No.30参照）という内容で、私は演壇に立ち反対討論をしました。

●議員発議の意見書については、4つの意見書については全会一致で可決され、2つの意見書については、自民党と公明党が反対し、否決されました。健康保険証の存続を求める意見書は、マイナ保険証について、窓口で10割請求されたり、他人の情報がカードに紐づけされたケースなど深刻な問題が続出されたことから、発議したものです。「給特法の廃止」に係る意見書は、教員の処遇改善を進めることを求めたものです。

の質問時間配分などは、会派の所属議員数によって左右されます。代表的なのは、正副議長や各委員会の正副委員長の選任です。基本的に多数に基づいて決められますから、会派の数が大きければ、議会での発言力や影響力は増します。

～新潟県議会の構成～

- 自由民主党（32名）
- 未来にいがた（9名）
- リベラル新潟（6名）
- 真政にいがた（3名）
- 公明党（2名）
- 馬場秀幸（無所属1名）



私の推し本その14

松山猛 著 「少年Mのイムジン河」(木楽會)
「イムジン河水清く とうとうと流る」

水鳥自由に 群がり飛び交うよ
我が祖国 南の地 想いははるか

「イムジン河水清く とうとうと流る」
歌を知ったのは、はるか昔の大学時代。カラオケで先輩が歌ってくれました。美しい調べ、しかし、内容は朝鮮分断の悲劇、ヒットしたが、すぐに放送自粛、普通の人は知らない。カラオケで歌っても、周りの友は「はて？何の歌？」。でも「いいものはいい！」。私はカラオケに行く都度歌ってきました。

しかし、この歌が、2000年代、映画『パッチギ』の主題歌になって再び光を浴びました。「パッチギ」の原作になったのがこの本、時は50年代、朝鮮戦争で物騒な時代のことでした。

京都で音楽少年だった松山さんは、朝鮮学校にサッカーの親善試合を申込に行きます。そのときに学校の教室から流れてきたのが「イムジン河」。松山さんは、そのメロディーに心奪われ、当時京都市内の鴨川でトランペットを吹いていた音楽仲間朝鮮籍の「文くん」に歌の意味を聞きました。「文くん」は歌の紙片と朝鮮語の辞典を松山さんに渡します。松山さんは訳した歌をザ・フォーク・クルセダーズに託しました。その歌が今に繋がります。歌はまさに生き物なんだと思いました。



皆さんからの感想を紹介します

やっぱり
おかしいでしょ！



教員臨時免許状交付

の現場で大問題だ。また少し前までは校長になるのは狭き門だったが、現在は校長のなり手がいない。手を挙げたものが校長になれてしまう時代になれば必然的に教育現場の質の低下も避けられない。早

教員の未配置、臨時教員免許状の交付手続の問題についてご紹介した(日誌No.31、32)ところ、皆様から感想をいただきましたのでご紹介いたします。
●元教員Mさん
まずは、正教員を増やすことが大事。臨時免許状の交付は、タクシー会社の社長が、自動車学校に通わず、試験も受けずにタクシーを運転しようとする社員に社長の判断で免許証を発行するのと同じ。それで安全な運転ができるかといえるのか。
教育の場も同じ。児童生徒が教員の些細な言動に傷つくことがある。対応の仕方を知らない臨時免許教員が増えることは教育の現場で大問題だ。

また少し前までは校長になるのは狭き門だったが、現在は校長のなり手がいない。手を挙げたものが校長になれてしまう時代になれば必然的に教育現場の質の低下も避けられない。早

急に教育現場の問題解決に取り組む必要がある。
●現職の小学校教員Hさん
自分が勤務する小学校では、2年生の学級担任が育休になり、教務主任が代わりに担任になっている。その教務主任は、学校行事などを業務にしているけれど、担任を掛け持ちして大変だ。隣の小学校でも、1年生の担任だった教員が病休をしているけれど、補充の教員が見つからないみたいだ。どこも人手不足。みんな余裕がない。
●退職教員のSさん
「英語」の免許を持っている先生が、免許を持っていない「数学」を臨時で受け持つことはたまにあったけれど、教員免許状をもっていない人がいきなり採用されることなんてホントにあるんですか？私の時代には考えられなかったことだ。
●退職教員のFさん(数年前まで小学校の校長をしていた)
教員免許をもっていない人にいきなり臨時免許状を交付するなんて本当にあるの？教育支援員をしていたり、保育園で教員していたら、免許状交付できるなんて信じられないんだけど。
●Sさんのブログより
「質問のきっかけ」が良いですね。質問をぶつけたら何が分かったかと続きます。「なるほどなるほど」と読み進められました。

馬場秀幸のうごき
8月24日～30日

●8月24日(土) 上野公悦上越市市議後援会「焼肉と生ビールのごちそう」
私の活動日誌の話、4月の市議会議員選挙の話で盛り上がりがありました。
●8月25日(日)
年金者組合上越支部「童謡と懐メロを楽しむ会」この歌の会は、昨年の私の選挙事務所でした「うたごえ喫茶」がきっかけだったとのことなので、今年はいさつにうかがいました。
●8月26日 学校給食無償化要請行動



県内各地の団体が学校給食無償化で県庁要請。同行しました。各地の無償化への切実な声に「頑張らなければ」と思いを新たにしました。
●8月29日(木) 県道青柳高田線改修期成同盟会
●8月30日(金) 上越地域医療構想調整会議 傍聴参加(内容は後日報告します)。



発行責任者：馬場ひでゆき事務所
住所 新潟県上越市本町3丁目3番3号
ダイヤパレス高田式番館2階
電話 025-546-7110
ファックス 025-546-7666
メール kengi-babahideyuki@wind.on.ne.jp

●花江役の森田望智(みさと)も、数年前のNHKBSで放映された「1億円のさようなら」の頃から好きでした。「虎に翼」で有名になって凄くうれしいです。●